

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31年 2月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493500064		
法人名	株式会社 楽生舎		
事業所名	グループホームつつじの家		
所在地	広島県山県郡北広島町壬生9 1 5 - 1 (電話) 0826-72-7575		
自己評価作成日	平成31年2月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3493500064-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(一社) 広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島県広島市南区皆実町1丁目6-29
訪問調査日	平成31年1月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>医療法人を中心としたグループ内の施設であり、老人保健施設や特養等がある。その為、状態に応じたケアを提供出来、利用者家族ともに安心して入所できている。また、医療面でのサポートも充実しており、緊急時の対応も迅速に実施する事ができている。</p> <p>小学校などの施設も近くにあり、児童とのふれあいもとりに易い環境になっている。中学生の職場体験学習の受け入れも行い交流を図っている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>経営母体が医療法人の為、体調面で何かあった時はすぐに対応出来る事で安心した生活が送れるように配慮されている。</p> <p>食事に関連施設で出来立てのものが届けられるため、手作りによるおいしい食事支援がされている。</p> <p>散歩には毎日多くの利用者が出かけており近くの広場が憩いの場所となっている。</p> <p>地域の方との協力のもと防災訓練と一緒にされ助け合いの交流が図れている。</p> <p>職場内は良いチームワークが築けており、業務改善を含め風通しの良い職場となっている。</p>

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝朝礼前に出勤職員全員で、基本理念と接客用語の唱和を行っている。お互いに目標を確認しあい出来る限り良いケアが行えるようにしている。	リビングのある壁に理念を掲げ、毎朝職員全員で唱和している。理念をもとに事業所目標を職員みんなで考え立案している。目標に向かって努力し達成したかどうか年度末には評価し、尊厳に配慮したより良いケアができるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事に出来る限り参加し、地域の方に事業所を知ってもらい、気軽に連絡や相談が出来るような施設とされるように努力している	地域行事がお祭りを含め年に3回あり積極的に参加している。地域との関わりの中で銭太鼓等の慰問もあり、出入りしやすい環境作りがなされている。日々の散歩では、近くの『さんさん広場』に立ち寄り、おやつを食べたり地域の方と交流を図れるようになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	随時、事業所の質問や相談に応じている。町が主催の認知症サポートキャラバン等にも参加し、小学生や地域の方々に認知症への理解について知ってもらえるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回行っている。会議で出た意見等について、職員同士で話し合いを行いより良いケアに繋げる事が出来る様に努力している	運営推進会議には家族の代表と町役場職員、民生委員、法人内の老健の職員と多数の参加がありしっかりと話し合いが行われている。その中には拘束についての意見交換や介護事故に対するアドバイス等含めて話し合いがなされている。	運営推進会議をよりよく活かせるために、あらかじめ課題を決め皆の意見が多く集まることにより良いケアにつながるような会議になること、又、会議議事録に参加していない家族に送付することで会議内容や日々の取り組み、地域との関係など周知する機会となり、より事業所への理解が深まることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議へ参加を呼びかけ情報提供している。	介護保険の申請を含め顔の見える関係づくりのために何度も連携し、相談できる関係性が構築できている。その中で入所に関する相談もあり民生委員、包括職員と連携した事例もある。また、認知症アドバイザーが職員の中にいるため、役場の依頼により認知症サポーター養成研修を行った事例もある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関するマニュアルや、指針を全職員がいつでも閲覧出来る場所に設置している。推進会議の場でも拘束についての話し合いの場を設け、拘束のないケアを実践している。	ここ数年身体拘束をしている事例は無い。書類整備もすぐに見える場所に置き、共有できるようにしている。スピーチロックを含め、声かけにも配慮し、拘束をしないためのケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関する勉強会などに参加し、伝達する事により職員一人一人が意識しながらケアを行う事が出来ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度については学ぶ機会を持っている。職員全員が制度を把握できるように努めている。現在、対象者はいないが必要に応じて支援出来る環境作りに努めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の際には契約書の説明を書面と口頭で行うと共に、家族の方や利用者本人にわかりやすく説明する事に努めている。家族からの質問についても確実に答えることが出来る様にしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	普段のコミュニケーションの中で、数値からわかる物だけではなく表情の違い等から入居者の変化を気付けるように努力している。アンケートボックスの設置や、面会簿に御意見・御要望等を記入していただき、より良いケアが出来る様に心掛けている。	利用者の意見や意向は普段の会話の中で聞き取り把握するように努めている。また、家族の意見は面会に来られた際に日常の状況等の話し合いの中でできるだけ引き出せるようにしている。実際のケアの方法を改善しリハビリ等を行った事例もある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会や定期的に職員アンケートを実施し、意見交換の場を設ける様になっている。	職員の意見の反映は管理者と職員に良いチームワークがあり何でも言える関係づくりがなされている。実際に要望を上げることで人員を増やして頂いた事例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人内の部署別発表会などで取り組みについて発表を行う事で個人の意欲向上・チームとしてのケアや意欲の向上を図っている。又、グループ内に託児所もあり育児をしながら働ける環境や家庭内の事情による長期休暇についても柔軟に配慮出来る体制を取っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内では年間計画をたて、研修を行っている。事業所内でも研修の機会を設け全職員が研修を受ける事が出来る様に環境を整えている。スキルアップの為に研修等にも積極的に参加できるように、情報提供を行い参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	それぞれの事業所が日々の業務やサービスの中で成果をあげた内容を発表する部署別発表会を行い、良い面を取り入れより良いケアの実践に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時には本人や御家族から状態を詳しく聴きとりアセスメントを行っている。適切なケアを行えるように、職員同士情報を共有しながら業務にあたる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時または面会の際など、御家族の要望を受け、ケアに反映できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居者や御家族からの希望に対して、主治医やリハ科、看護師等多職種とも連携を図り必要な支援が出来るような環境作りに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活を把握し、本人が行っていた家事や仕事、趣味など培った物を教えてもらったり、それらを本人がいつまでも実施できるように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族に定期的にご本人の状況や活動が分かるように、機関誌や必要に応じて連絡する事で現状を報告している。必要に応じて他の病院の受診など一緒に本人を支えて行けるよう関係作りに努めている。カンファレンスにも出来る限り家族にも参加してもらい意見交換出来る様に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や御家族からの情報収集により馴染みの関係や場所の把握に努めている。</p>	<p>昔なじみの関係が途切れないように家族の協力を得ながら散髪に行かれたりする利用者様もおられる。なじみの方が施設に来やすいように入出入りを制限することはせず関係が継続できるように支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>普段の生活の中で入居者同士が会話をしたり、作業を行う事が出来る様に環境を整えている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も、関係事業所を利用されたり相談等の連絡を受ける事がある。その際には、適切な助言を行ったり、意見についても今後に反映できるように努めている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃から本人と会話したり様子を観察し、家族からも聴き取りを行い一人一人の思いや暮らし方の希望、意向を汲み取り支援している。本人本位になるよう支援しているが、日々の体調や状態によっては困難な場合もある。</p>	<p>利用者ごとに担当がありなじみの関係が築けていることで意向の把握が行えている。また、何でも自由に記入できる『何でもノート』があり、皆で共有できるシステムがある。意向の把握が困難な方には、表情等を見ながら本人本意のケアができるように努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>御家族からの聞き取りなどを行い入居者の情報収集に努めている。サービス利用歴があれば事業所からの情報収集にも努めている。ご本人からの聞き取りも状態に応じて行っている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>個々の身体状態や生活リズムを把握し、それぞれに体調や状況に応じた生活が出来る様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者ごとに担当の職員を決め、本人の状態を把握している。介護計画の作成には日頃の状態を家族・介護支援専門員・介護職員の他、看護師やリハビリ等とも話し合い検討し本人、家族の意向に沿った介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画の作成については、他職種と連携をとりながらケアプラン原案を作成している。モニタリングは毎月行っているため、利用者の変化を随時更新対応できるようになっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子や変化を日々記録している。必要事項は申し送りやカンファレンスで情報を共有し見直しに活かせるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>関連事業所と常に連携を取りながら、情報の共有を行い、入居や退去など適切に、また迅速な対応が出来るようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員との定期的な話し合いや、必要に応じて行政・消防機関の方に運営推進会議の参加を依頼し、情報交換を行っている。また、各事業所のサービス説明を行い、必要なサービスに繋げていけるような関係作りに取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>現在入居されている方はグループ内の病院を主治医となっている方が多く、御家族の希望に応じ継続して診てもらっている。ただし、状態によっては掛かりつけの病院が受診できるように努めている。</p>	<p>経営母体が医療法人であるため隣接する病院が主治医となっている。このため急変時には訪問看護とすぐに対応できる体制が整っている。歯医者、整形外科等の専門にはご家族の協力のもと受診できるようになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携体制をとっており、契約を交わした医療機関の看護師が定期的に訪問し利用者の体調管理・医療的な対応を行っている。定期以外にも緊急時や日祭日であっても、連絡し受診や助言を受けれる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から、情報交換を行っており、入院があった際は病院側と連絡をとり状態の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化が見込まれる場合には、御家族とも状態をみて話し合いの場を設けるようにしている。終末期のケアについては御家族の要望を考慮し、主治医とも連携を図りながら実施するようにしている。又、医療連携を取っている看護師と対応指針を作成し御家族に対し必要に応じて同意書を取るようにしている。	重度化した場合でも最後まで看取りを行う体制はあるが、ここ数年は看取りをした事例は無い。関連施設が医療法人のため相談等を含め最後まで看れる安心した環境が整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生に対するマニュアルを備え付けている。そこに、連絡手順や対処法などを記しており、全職員が閲覧出来る場所に設置している。事業所内でも緊急時や事故の対応について勉強会を実施したり、看護師より助言をもらうようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の方と協力協定を結んでおり、定期的に合同で避難訓練を行っている。実際に職員だけの訓練とせず、入居者にも参加して頂く事で、地域の方に利用者の方を理解して頂けていると思う。	消防署立ち会いのもと年に2回防災訓練を実施しており、そのうち1回は地域と協力しながら夜間を想定した訓練を行っている。もう一回は関連施設と合同で災害訓練を行っている。この地区は水害が想定される場所にあり消防署と連携しながら対策を検討している。また備蓄食は三日間程度確保している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いの方針を事業所内に掲示し、個人情報の保守や入居者の尊厳の保持の重要性を意識し業務にあたる様に心掛けている。記録等の個人情報は目のつかない場所に保管している。	プライバシーに配慮するための声かけは注意して行っている。常に人格を尊重する視点から、親しき中にも礼儀ありとすることをモットーに対応するよう皆で共有している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の言動や行動だけでなく、表情からも思いや意思が汲み取れるようなコミュニケーションや声掛けを行っている。入居者の自己決定を尊重できるよう支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のその日の状態に応じて、本人のペースや要望に合わせて生活して頂けるよう、支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族の方に定期的に散髪の為に外出をお願いしたり、外出が難しい方には地元の理髪店の方に出張して頂いている。また、自宅で使用していた美容液等も持って来ていただき身だしなみを整えるように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	その日のメニューが分かりやすく見えやすいように毎日メニューを記入している。また、盛り付けやメニューの記入も入居者の方に行っていただき、食事に関心や楽しみを持てるように努めている。	関連施設に厨房があり、そこで出来立てのものを真空パックにして感染症等にも配慮しながら持ち込まれている。食事メニューや盛り付けは利用者役割を担っていただき、食事を楽しむことのできるような支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランス、必要カロリーを考慮した食事を一人一人の摂取量を把握し配膳を行っている。摂取状況の確認も行いながら状態の観察に努めている。水分摂取量も都度確認をしながら脱水予防に努めている。水分を摂取しにくい方は嚥下状態に合わせた飲み物を準備する等の工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後、個人の能力に合わせた口腔ケアを実践している。口腔ケアと同時に、口腔内の観察や義歯が合っているかどうかの確認も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人一人の排泄パターンを把握できるように努力し、人ひとりの能力を活かせる声掛けや誘導など統一したケアが行えるように努めている。	一人ひとりの排泄パターンを理解することで、定時誘導等をする事はなく、その人に合った支援につながっている。そうすることで、汚染が減少したり、おむつの方をトイレに座ることを支援したことで便秘解消につなげた事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・おやつ以外にも適宜水分摂取出来るよう促している。散歩など適度な運動や昼食前には毎身体操を行っている。必要に応じて内服や坐薬、オリゴ糖を服用するなど、入居者の状態に合わせたコントロールも行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	決まった曜日を定めているが、その日の気分や体調に応じて気持ち良く入浴できるようにケアを行っている。	個浴で一人一人ゆったりと入浴できる体制が整っている。安全に配慮された入浴方法で椅子に座って入浴できるようになっている。また、体調と気分に合わせて行っているため曜日時間に縛られず柔軟に入浴できるようになっている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>個々のリズムに合わせて起床・就 寝など行って頂いている。室温な ども季節に応じ管理するなど入 眠しやすい環境づくりにも努 めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>指示書や医師からの説明による 内服の用法・容量等を把握する ように努めている。日頃から入 居者の状態を把握し、配薬が 必要な方に対しては一日分 ずつケースに入れて誤薬の無 いよう名前を確認しながら確 実に投薬を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>生活歴や趣味などを活かしてご 本人の希望に応じ草取りや掃 除等の役割を持つようにして いる。活動に関しては安全面 に注意し無理なく継続出来る よう援助を行なっている。レ クや慰問等も実施し楽しみを 持つように工夫している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。</p>	<p>外出を希望される入居者には 職員が同行し、安全に配慮し ながら外出を楽しんでいる。 また、季節を感じることに 出来る様に、時期ごとにド ライブ等も実施している。</p>	<p>気候を見ながら、基本的には 毎日皆で散歩に出かけるよう にしている。散歩コースの『 さんさん広場』には、花や ニワトリ、ひよこや金魚が おり、出かけることが楽し みな環境となっている。季 節毎のドライブは年に3回 程度行っている。皆さん 楽しみにされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの 支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり 使えるように支援している。</p>	<p>家族と相談の上、個人管理が 可能な方は、自己管理をして いただき、紛失される可能性 のある方は、ご本人の了承 の下、事業所で管理してい る。必要の際は、お金をお 渡しし、買い物可能な方 (自己管理の方も)は、買 い物に同行するなどの援助 をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人からの希望に応じて、直接電話を掛け話していただいている。手紙の投函や受け取りも必要に応じて行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ブラインドや空調による光や温度の調節を行っている。中庭では季節の植物等を育てている。</p>	<p>リビングには、行事や外出した際の笑顔のあふれる写真が多く飾ってある。テレビだけでなく音楽を流す等の配慮をすることで居心地の良い共用空間作りがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になれたり、気のあった入居者同士で思い思いに過ごせるように、物を置く位置を検討している。入居者が居室から出てきて自然に話しが出来る等、ホールを憩いの場としている。また、気の合った入居者同士と一緒に過ごせるよう考慮して食堂の席を配置している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>備え付けのチェストやベッドはあるが、入居者の方や家族の好みに応じて模様替え等を行ってもらっている。その他、小物なども、入居者の好みなどに合わせて自由に持ち込んでいただいている。</p>	<p>各居室には、ベッド、洗面、ダンス、大きなクリップボードが備え付けられており、ご家族の写真が多く飾られている。また、中には金魚も飼っている方もおられ、持ち込みにはペット、火器類以外は制限なく何でも持ち込める為、居心地良く過ごせる配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者が安全に家事などの役割をして生活出来るよう整理するなどの環境整備に努めている。また、居室やトイレが分かりにくい方に対しては、見えやすく大きく名前を書くなど配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝朝礼前に出勤職員全員で、基本理念と接客用語の唱和を行っている。お互いに目標を確認しあい出来る限り良いケアが行えるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事に出来る限り参加し、地域の方に事業所を知ってもらい、気軽に連絡や相談が出来るような施設とされるように努力している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	随時、事業所の質問や相談に応じている。町が主催の認知症サポートキャラバン等にも参加し、小学生や地域の方々に認知症への理解について知ってもらえるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回行っている。会議で出た意見等について、職員同士で話し合いを行いより良いケアに繋げる事が出来る様に努力している		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議へ参加を呼びかけ情報提供している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルや、指針を全職員がいつでも閲覧出来る場所に設置している。推進会議の場でも拘束についての話し合いの場を設け、拘束のないケアを実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待に関する勉強会などに参加し、伝達する事により職員一人一人が意識しながらケアを行う事が出来ている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度については学ぶ機会を持っている。職員全員が制度を把握できるように努めている。現在、対象者はいないが必要に応じて支援出来る環境作りに努めて行きたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際には契約書の説明を書面と口頭で行うと共に、家族の方や利用者本人にわかりやすく説明する事に努めている。家族からの質問についても確実に答えることが出来る様にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段のコミュニケーションの中で、数値からわかる物だけではなく表情の違い等から入居者の変化を気付けるように努力している。アンケートボックスの設置や、面会簿に御意見・御要望等を記入していただき、より良いケアが出来る様に心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会や定期的に職員アンケートを実施し、意見交換の場を設ける様になっている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人内の部署別発表会などで取り組みについて発表を行う事で個人の意欲向上・チームとしてのケアや意欲の向上を図っている。又、グループ内に託児所もあり育児をしながら働ける環境や家庭内の事情による長期休暇についても柔軟に配慮出来る体制を取っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内では年間計画をたて、研修を行っている。事業所内でも研修の機会を設け全職員が研修を受ける事が出来る様に環境を整えている。スキルアップの為に研修等にも積極的に参加できるように、情報提供を行い参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	それぞれの事業所が日々の業務やサービスの中で成果をあげた内容を発表する部署別発表会を行い、良い面を取り入れより良いケアの実践に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時には本人や御家族から状態を詳しく聴きとりアセスメントを行っている。適切なケアを行えるように、職員同士情報を共有しながら業務にあたる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時または面会の際など、御家族の要望を受け、ケアに反映できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居者や御家族からの希望に対して、主治医やリハ科、看護師等多職種とも連携を図り必要な支援が出来るような環境作りに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活を把握し、本人が行っていた家事や仕事、趣味など培った物を教えてもらったり、それらを本人がいつまでも実施できるように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族に定期的にご本人の状況や活動が分かるように、機関誌や必要に応じて連絡する事で現状を報告している。必要に応じて他の病院の受診など一緒に本人を支えて行けるよう関係作りに努めている。カンファレンスにも出来る限り家族にも参加してもらい意見交換出来る様に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や御家族からの情報収集により馴染みの関係や場所の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	普段の生活の中で入居者同士が会話をしたり、作業を行う事が出来る様に環境を整えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も、関係事業所を利用されたり相談等の連絡を受ける事がある。その際には、適切な助言を行ったり、意見についても今後に反映できるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から本人と会話したり様子を観察し、家族からも聴き取りを行い一人一人の思いや暮らし方の希望、意向を汲み取り支援している。本人本位になるよう支援しているが、日々の体調や状態によっては困難な場合もある。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族からの聞き取りなどを行い入居者の情報収集に努めている。サービス利用歴があれば事業所からの情報収集にも努めている。ご本人からの聞き取りも状態に応じて行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の身体状態や生活リズムを把握し、それぞれに体調や状況に応じた生活が出来様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者ごとに担当の職員を決め、本人の状態を把握している。介護計画の作成には日頃の状態を家族・介護支援専門員・介護職員の他、看護師やリハビリ等とも話し合い検討し本人、家族の意向に沿った介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子や変化を日々記録している。必要事項は申し送りやカンファレンスで情報を共有し見直しに活かせるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>関連事業所と常に連携を取りながら、情報の共有を行い、入居や退去など適切に、また迅速な対応が出来るようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員との定期的な話し合いや、必要に応じて行政・消防機関の方に運営推進会議の参加を依頼し、情報交換を行っている。また、各事業所のサービス説明を行い、必要なサービスに繋げていけるような関係作りに取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>現在入居されている方はグループ内の病院を主治医となっている方が多く、御家族の希望に応じ継続して診てもらっている。ただし、状態によっては掛かりつけの病院が受診できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携体制をとっており、契約を交わした医療機関の看護師が定期的に訪問し利用者の体調管理・医療的な対応を行っている。定期以外にも緊急時や日祭日であっても、連絡し受診や助言を受けれる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から、情報交換を行っており、入院があった際は病院側と連絡をとり状態の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化が見込まれる場合には、御家族とも状態をみて話し合いの場を設ける様にしている。終末期のケアについては御家族の要望を考慮し、主治医とも連携を図りながら実施するようにしている。又、医療連携を取っている看護師と対応指針を作成し御家族に対し必要に応じて同意書を取るようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生に対するマニュアルを備え付けている。そこに、連絡手順や対処法などを記しており、全職員が閲覧出来る場所に設置している。事業所内でも緊急時や事故の対応について勉強会を実施したり、看護師より助言をもらう様にしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の方と協力協定を結んでおり、定期的に合同で避難訓練を行っている。実際に職員だけの訓練とせず、入居者にも参加して頂く事で、地域の方に利用者の方を理解して頂けていると思う。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いの方針を事業所内に掲示し、個人情報の保守や入居者の尊厳の保持の重要性を意識し業務にあたる様に心掛けている。記録等の個人情報は目のつかない場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の言動や行動だけでなく、表情からも思いや意思が汲み取れるようなコミュニケーションや声掛けを行っている。入居者の自己決定を尊重できるよう支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のその日の状態に応じて、本人のペースや要望に合わせて生活して頂けるよう、支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族の方に定期的に散髪の為に外出をお願いしたり、外出が難しい方には地元の理髪店の方に出張して頂いている。また、自宅で使用していた美容液等も持って来ていただき身だしなみを整えるように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	その日のメニューが分かりやすく見えやすいように毎日メニューを記入している。また、盛り付けやメニューの記入も入居者の方に行っていただき、食事に関心や楽しみを持てるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランス、必要カロリーを考慮した食事を一人一人の摂取量を把握し配膳を行っている。摂取状況の確認も行いながら状態の観察に努めている。水分摂取量も都度確認をしながら脱水予防に努めている。水分を摂取しにくい方は嚥下状態に合わせた飲み物を準備する等の工夫をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後、個人の能力に合わせた口腔ケアを実践している。口腔ケアと同時に、口腔内の観察や義歯が合っているかどうかの確認も行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人一人の排泄パターンを把握できるように努力し、一人ひとりの能力を活かせる声掛けや誘導など統一したケアが行えるように努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事・おやつ以外にも適宜水分摂取出来るよう促している。散歩など適度な運動や昼食前には毎日体操を行っている。必要に応じて内服や坐薬、オリゴ糖を服用するなど、入居者の状態に合わせたコントロールも行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>決まった曜日を定めているが、その日の気分や体調に応じて気持ち良く入浴できるようにケアを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個々のリズムに合わせて起床・就 寝など行って頂いている。室温な ども季節に応じ管理するなど入眠 しやすい環境づくりにも努めて いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。	指示書や医師からの説明による 内服の用法・容量等を把握する ように努めている。日頃から入 居者の状態を把握し、配薬が必 要な方に対しては一日分ずつケ ースに入れて誤薬の無いよう名 前を確認しながら確実に投薬を 行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	生活歴や趣味などを活かしてご 本人の希望に応じ草取りや掃除 等の役割を持つようにしている。 活動に関しては安全面に注意し 無理なく継続出来るよう援助を 行なっている。レクや慰問等も 実施し楽しみを持つように工夫 している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける るように支援している。	外出を希望される入居者には 職員が同行し、安全に配慮なが ら外出を楽しんでいる。また、 季節を感じることに出来る様 に、時期ごとにドライブ等も実 施している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	家族と相談の上、個人管理が可 能な方は、自己管理をしていただ き、紛失される可能性のある方 は、ご本人の了承の下、事業所 で管理している。必要な際 には、お金をお渡しし、買い物 が可能な方(自己管理の方も)は 、買い物に同行するなどの援助 をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人からの希望に応じて、直接電話を掛け話していただいている。手紙の投函や受け取りも必要に応じて行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ブラインドや空調による光や温度の調節を行っている。中庭では季節の植物等を育てている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になれたり、気のあった入居者同士で思い思いに過ごせるように、物を置く位置を検討している。入居者が居室から出てきて自然に話しが出来る等、ホールを憩いの場にしてている。また、気の合った入居者同士と一緒に過ごせるよう考慮して食堂の席を配置している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>備え付けのチェストやベッドはあるが、入居者の方や家族の好みに応じて模様替え等を行ってもらっている。その他、小物なども、入居者の好みなどに合わせて自由に持ち込んでいただいている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者が安全に家事などの役割をして生活出来るよう整理するなどの環境整備に努めている。また、居室やトイレが分かりにくい方に対しては、見えやすく大きく名前を書くなど配慮している。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームつつじの家

作成日 平成31年2月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	状態に応じた介護技術や認知症に対する知識を身に付ける	技術・知識を向上しより良いケアの提供。	<ul style="list-style-type: none">・積極的に研修に参加する。・受け身にならず、分からない事は自ら質問する。・職場内での勉強会を定期的に開催する。	1年間
2	2	入居者と地域の繋がりを継続出来ているか	積極的に地域の行事へ参加する。	<ul style="list-style-type: none">・民生委員の方や、家族から行事の情報を得る。・年間を通じて地域行事を把握する。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。